



後期中間考査結果特集号

<各教科素点TOP5>

- 現代文 平均67.8
- 古典B 平均59.7
- 世史B 平均64.5
- 倫理 平均59.5
- 数学Ⅱ 平均53.6
- 数学B 平均40.2
- 物基礎 平均51.3
- 化基礎 平均45.2
- コミュ英 平均46.6
- 英表Ⅱ 平均65.0

<5教科クラスTOP5>

*

前回の期末考査との比較をしてみると、成績が10番以上向上した人15名、逆に10番以上下落した人19名で、そのうち、50番以上で向上した人が6名、下落した人7名である。もちろん、10番くらいの順位の変動は誤差のうちだし、一回の考査で一喜一憂する必要はないわけだが、50番くらいの変動となると、ちょっとその理由を振り返ってみた方がよい。向上した人も下がってしまった人も、どの科目がポイントだったのかを確かめ、今回その科目にどのくらい力をかけたのかを思い出しながら、今後の受験勉強でその科目とどう付き合っていくかを考えてるのである。特に、不得意科目だったが一生懸命やって効果が出たという人は、これをきっかけにして、3年生になるまでの間にその科目の復習をしっかりこなししておくとういだろう。

「進路の手引き」の合格体験記にある通りで、日比谷の授業は教養主義的であると同時に、受験を意識したものになっている。だから、考査の順位と来年の結果は密接に結びついている。模試の結果はその時一回の結果でしかないから、そこで安心しては、また逆に、それだけで不安になってはいけな。君たちが受けるトップレベルの大学は、東大にしろ慶応にしろ、すべてネットワーク化された知識を問う問題が出題される。それは、模試ではなく、日々の授業の中で養われるのである。そのことの意義を確認し、授業を大切にする姿勢をもう一度確認しよう。